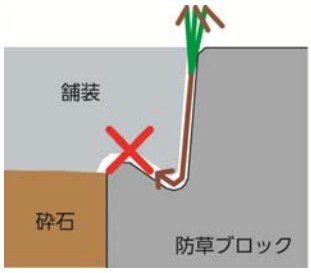
# 防草ブロック
## 施工要領

TAKAMISAWA
株式会社 髙見澤

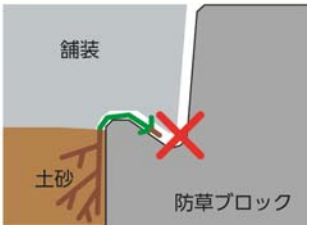
防草ブロック施工要領

## １．防草ブロックの原理

植物には屈性という性質があります。植物の根が重力を感知し下へ向かって成長する性質を「屈地性」、茎や芽が光に向かって上へと成長する性質を「屈光性」と言います。防草ブロックは、切欠けの形状により雑草が成長しようとしても「屈性」とは逆向きに根や茎を向けさせることで、雑草の成長が止まる構造になっています。



根の成長過程



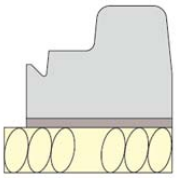
茎の成長過程

## ２．防草ブロック種類

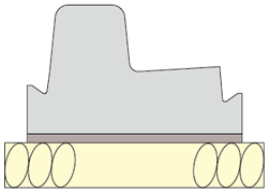
表-1　防草ブロック種類

| 品名 | 呼び名 | ｻｲｽﾞ |
|---|---|---|
| 歩道エプロン　タイプ | 両R-A | L-600　L-2000 |
| ＰＬガッター　Ｓタイプ | 両R-A | L-600　L-2000 |
| ＰＬガッター　Ｓタイプ | 両R-B | L-600　L-2000 |
| ＰＬガッター　Ｗタイプ | 両R-A | L-600　L-2000 |
| ＰＬガッター　Ｗタイプ | 両R-B | L-600　L-2000 |

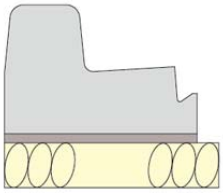
■歩道エプロンタイプ



■PL ガッターW タイプ

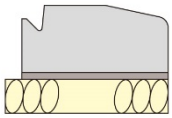


■PL ガッターS タイプ



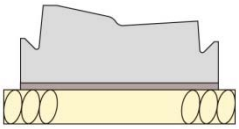
■歩道エプロンタイプ

テーパー乗り入れ

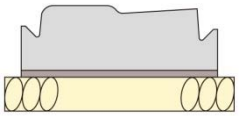


■PL ガッターW タイプ

テーパー乗り入れ

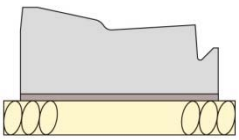


フラット乗り入れ

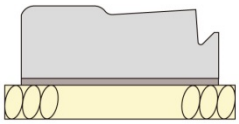


■PL ガッターS タイプ

テーパー乗り入れ



フラット乗り入れ



**※乗入れﾀｲﾌﾟはﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟとﾃｰﾊﾟｰﾀｲﾌﾟの２種類となります**

## ３．施工使用機材

表-2　使用機材

| 機械名 | 規格 | 単位 | 数量 |
|---|---|---|---|
| バックホウ | クローラ型・クレーン機能付き<br>山積 0.45 ㎥（平積み 0.35 ㎥）2.9ｔ吊 | 台 | 1 |
| 吊り具 | マルチバイスＴ-1000<br>定格容量　1,000ｋｇ | 台 | 1 |

## ４－１．防草ブロック施工方法

防草ブロックの施工フローを図-1 に示す

① モルタル製造・敷均し
↓
② 防草ブロック据付
↓
③ 防草ブロック目地詰め
↓
④ 路盤敷均し・路盤端部切下げ
↓
⑤ 防草ブロック切欠け部　清掃
↓
⑥ アスファルト乳剤散布
↓
⑦ アスファルト舗装敷均し
↓
⑧ 完　　了

図-1　施工フロー

## ４－２．施工留意点

① モルタル製造・敷き均し

② 防草ブロック据付

写真-1　防草ブロック据付状況

専用の吊り具にて、据付を行います。

切下げ、乗入れ等の役物は、切欠け部を損傷しないように当て木を添えてワイヤー等で吊上げて下さい。
（写真-1 参照）

③ 防草ブロック目地詰め

写真-2 モルタル充填状況

切欠け部にはみ出た目地モルタルは必ず取り除いて下さい。

目地モルタルで切欠け部が埋まっている場合は、防草機能が発揮されません。
（写真-2 参照）

④ 路盤敷均し・路盤端部切下げ

写真-3　路盤状況

路盤の端部を防草ブロックの切欠け部より１㎝程度下げて敷均しを行って下さい。（写真-3、図-2 参照）

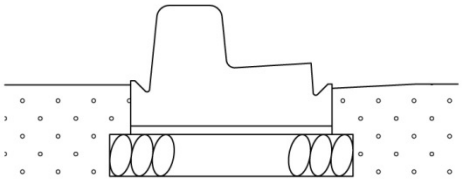


図-2

⑤　防草ブロック切欠け部　清掃

写真-4　切欠け部清掃済み状況

防草ブロックの切欠け部に路盤材が入った場合は、ほうき、ブロアー等で路盤材を取り除いて下さい。

路盤材で切欠け部が埋まっている場合、防草機能が発揮されません。
（写真-4 参照）

⑥　アスファルト乳剤散布

写真-5　切欠け部乳剤養生砂混入状況

アスファルト乳剤散布後の養生砂が切欠け部に入った場合は、取り除いて下さい。
養生砂で切欠け部が埋まっている場合、防草機能が発揮されません。
（写真-5 参照）

写真-6　切欠け部アスファルト合材充填状況

※乳剤散布後に養生砂を取り除くことは、**乳剤の接着力により非常に難しいため**、切欠け部を先にアスファルト合材で充填することをお勧めします。
（写真-6　参照）

⑦　アスファルト舗装敷均し

アスファルトフィニッシャー等で敷均し後、ハンドガイドローラ・プレート等で転圧をして下さい。振動を一点にかけると防草ブロックの切欠け部が破損するおそれがあるため注意願います。（写真-7,8　参照）

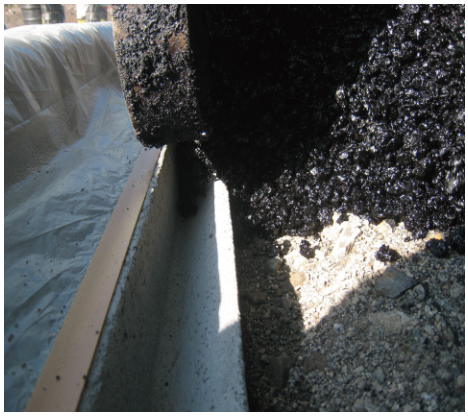


写真-7　舗装敷均し状況

写真-8　舗装転圧状況

⑧　完　　了

備考